



地域高規格道路 いちのみやにしこうどうろ 一宮西港道路

早期実現に関する要望

一宮西港道路に期待する地元企業の声

岐阜工場から名古屋工場への輸送時間の短縮が図られ、1往復から2往復への輸送へと、効率化ができると考えている。

各務原市の航空宇宙産業企業

取引先への輸送が便利になり、本道路が整備されれば沿線で用地取得を検討したい。

稲沢市の製造業企業

名神高速道路一宮JCT周辺で渋滞が発生し、遅れが発生している。交通の転換が起こり、渋滞が緩和し、定時制の確保に期待。

高山市の高速バス会社

【東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会 名簿】

会長	愛知県知事			
副会長	一宮市長	飛島村長		
委員	津島市長	愛西市市長		
	弥富市長	あま市市長		
	大治町長	一宮市市長		
	津島市議会議長	稲沢市議会議長		
	愛西市議会議長	弥富市議会議長		
	あま市議会議長	大治町議会議長		
	蟹江町議会議長	飛島村議会議長		
	名古屋港管理組合専任副管理者			
監事	稲沢市長	蟹江町長		
	岐阜県知事	岐阜市長		
	高山市長	関市市長		
	美濃市長	羽島市長		
	各務原市長	飛騨市長		
	郡上市市長	岐南町長		
	笠松町長	白川村長		



令和2年9月

東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会

一宮西港道路の早期実現に関する要望について

中京圏は、基幹産業である自動車関連産業をはじめ、工作機械や航空宇宙など、日本一の産業集積を誇る産業圏域として、日本経済を支える中心的な存在です。

また、名古屋港は、総取扱貨物量は約2億トンで平成14年以降全国第1位、貿易黒字額も約7兆円で平成10年以降全国第1位の、我が国を代表する国際貿易港で、飛島ふ頭と鍋田ふ頭がコンテナ取扱拠点となっており、東南アジア向けコンテナ貨物量を急速に増加させる中、飛島ふ頭東側コンテナターミナルの整備など、国際物流拠点として機能強化の取り組みも着々と進められております。

名古屋港の北側に位置する尾張西部地域から岐阜県南部地域は、古くから栄える繊維産業を始め、次世代産業の柱として期待される航空宇宙産業まで幅広いモノづくり産業が集積していることに加え、名古屋駅にも近接していることから、リニア新幹線開業後の「リニアインパクト」による更なる発展が期待されている地域でもあります。

一方、当地域の幹線道路網は、伊勢湾岸自動車道、東名阪自動車道等の高規格幹線道路や国道1号、23号等の幹線道路等の東西軸に比べ、南北軸は弱く、東海北陸自動車道から、名古屋港へのアクセス道路ともなる（都）西尾張中央道では、大型貨物輸送の需要が高く、朝晩を中心に信号交差点を起点とする渋滞が発生している状況であります。

さらに、一宮ジャンクションにおいて、東海北陸自動車道の新たな出入口となる一宮稲沢北インターチェンジが、令和2年度内に供用予定であり、東海北陸自動車道の利便性向上に大きく貢献することが期待される反面、西尾張中央道の更なる渋滞が懸念されております。

こうした中、今後とも中京圏が日本の産業・経済を強力にリードしていくためには、空港・港湾等の物流拠点の強化のみならず、生産拠点や産業集積地間の定時性を確保する道路網の充実など、物流ネットワークの強化が必要であり、東海北陸自動車道の南伸となる地域高規格道路「一宮西港道路」の整備は大変重要となります。

本道路は、愛知県のみならず岐阜県方面からの名古屋港や中部国際空港へのアクセス性を高め、「航空宇宙産業等産業集積の

強化」、「インバウンド観光の支援」等といったストック効果を発現させるのはもとより、日本最大の海拔ゼロメートル地帯を有し、大地震による津波、水害の被害が広範囲に渡ると予想される尾張西部地域にとって、広域避難や緊急輸送といった防災面でも非常に重要な道路「いのちの道」であります。

また、日本のど真ん中の大動脈として、太平洋側と日本海側を結ぶ、まさに日本の基軸となり、国土強靱化を担う道路として、中部圏全体のこれからの健全な発展や防災機能の強化に寄与することは言うまでもありません。

国土交通省中部地方整備局において、昨年度より名古屋港をはじめとした効率的な物流確保に向け、名古屋都市圏環状機能強化の検討を実施していただいているところですが、私たちとしても、愛知県及び岐阜県内における整備を望む地域の声を集約し、本路線の必要性と整備効果の整理を進め、地域一体となって、早期実現に取り組んでまいります。

つきまして、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 経済活動のV字回復と物流・観光等の経済活動復興のための施策を推進すること。
2. 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策につづき、国土強靱化を継続的に実施するため、平時・災害時に安定的な人流・物流の確保に向けた高速道路等のダブルネットワークの構築も含めた次期計画を策定するとともに、必要な予算を確保すること。
3. 名古屋港をはじめとした効率的な物流確保に向け、名古屋都市圏環状機能強化の検討を進めるとともに、一宮西港道路を重要物流道路へ指定した上で、早期実現を図ること。

令和2年9月

東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会

会長 愛知県知事 大村 秀章

名古屋商工会議所会頭 山本 亜土

一般社団法人中部経済連合会会長 水野 明久